



板橋を造ることで外からの視線を防ぎ、家の中で開放的に暮らすことが出来る。
※木部はすべてご主人が造ってくれました。



2F 平面図



1階配置・平面図

DATA

- 家族構成 夫婦、子供2人
敷地面積 139.09㎡
建築面積 72.87㎡
延床面積 128.01㎡
構造 木造軸組（筋違工法）
（土台：松 柱：桧）
梁：天竜杉天然乾燥材
平成19年3月末
- 竣工
・外部仕上げ 屋根／ガルバリウム鋼板 棧置き
外壁／ガルバリウム鋼板 角波板張り、
3枚1枚吹付け仕上げ
外部建具／アルミ樹脂（KK）、
木製建具（米ヒノ材）
- ・内部仕上げ 天井／杉板本実張り、JII 補規し、
さわり板本実張り
内壁／珪藻土、珪藻土塗、さわり板本実張り
床板／杉板本実張り 厚30mm (1,2階共)
内部建具／ガルバリウム鋼板（さわり板）、
襖（杉）、障子（杉）
- ・設備 押入れ／アルミ樹脂（天板：珪藻土・ライク1mm
建具：珪藻土）
洗面／アルミ洗面台
洗面／アルミ洗面台
洗面／アルミ洗面台
浴室／アルミ樹脂・水栓：TOTO
壁・天井：さわり板張り
照明器具／パナソニック、National、パナソニック
- ・家具 押し入れ家具／杉、杉引 襖、死材等、
ダイニングテーブル・椅子
- ・設計者／山崎 健治

敷地から間取りを考える

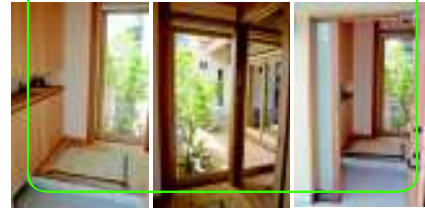
今回の計画で重要なカギとなっているのが中庭です。1階のどの部屋からも眺められ、採光、通風をもたらしてくれています。まず初めに敷地に訪れた時、周辺の住宅状況や方位の兼ねが気になりました。とても静かで人通りの少ない場所ですが、敷地の3方（東、西、北）に隣家が接し、南が45°程度西に傾いている土地でした。「日当たりの良い家」というのは誰もが望むものあり、太陽の光は暖かさと共に、時間や季節の変化を感じさせてくれます。この太陽の光をどの様に今回の計画に取り込み、生活に変化を加えるかが大きな悩みの所でした。幸いにも南が45°傾いていたので、道路正面の家の影は早い時間になくなり、正午前から光が斜めに入り込んできます。そこで、この光を各部屋に取り込む為に部屋の配置をL型にし、中心に中庭を計画しました。中庭に面して大きく開放できる木製の窓を配置し、光と風を取り込むと共に、中庭のデッキも部屋に組み込むプランにしました。開放的に暮らす為に、周辺の住宅や道路からの視線も考慮してブラインドを確保する為の板塀も造りました。完成後各部屋に座ってみると、どの部屋からも眺めは中庭に集まり、それぞれの部屋で見え方もいろいろです。時間によって光の入り方も変わり、キッチンからリビングへと変化して行きます。何よりキッチンからの眺めは最高で、こんな場所なら奥様も張りきって料理していただけたらと満足しています。

（文／コロポ 山崎 健治）



- 1/和室から中庭を鑑む。
- 2/「T.Vを見るのに、ここがちょうどいい」と、奥様。
- 3/収納場所を考えて、スッキリまとめたキッチン。
- 4/ロフトを設ける事で、北の部屋にも光と風を取り入れた。
- 5/檜の木で大工が製作したテーブル。

玄関に入ると、正面に中庭が見えてくる。風と光が通り抜ける、爽やかな空間。



「空を望む木の家」

家への思い
Yさんご夫婦と初めてお会いしたのは、今から2年半ほど前のこと。木の家についてとても熱心で、沢山お話をした事を覚えています。Yさんは10年以上前から家造りを考え土地を探していました。その後良い土地が見つかり、土地の調査から段々と設計の打ち合わせへと進んでいきました。Yさんは家に対する思いや希望が強く、今回タイトルに付けた「空を望む木の家」は、そんなご主人の希望から付けたタイトルです。「空を

いつも見ながら暮らしたい」…中でも「雲」を見るのが好きなのだと聞きながら色々な思いに馳せるのでしようね！
収納を考える
今回の計画の中で中心となったのがキッチンでした。奥様が自宅から、通常のお宅では見るという事から、通常の機械や道具が沢山ありま

ミレーションしながら考え、機械の寸法や場所、道具の使い方をキチンと設計しました。住宅として少し大きめのキッチンが出来上がりましたが、収納場所を考えた事で、使ってもスッキリとしたキッチンが出来上がったと思います。各部屋に用途を考えた家具も、多く製作させていただきました。子供室の洋服収納や本棚、奥様の着物を収納する棚の引出し、ご夫婦それぞれのパソコンデスク、ピアノ

設計者の役割
今回の計画は単に木組みの家と言っただけではなく、間取りから細かな収納、家具まで、考える事が多かった家になりました。単に木で造れば「木の家」となりますが、そこに暮らしやすさ、日常の生活をする事も家の設計には大切な事だと思っています。そして、それは私達設計者の役割として果たしていかなくてはならないと感じています。これからの色々な事にチャレンジし、設計者として楽しんで家造りをしていきたいと思っています。
（文）コロポ 山崎 健治

静岡県静岡市・Y邸 完成現場報告

設計者／山崎 健治



上 / 奥様の視線でキッチンに立つと、中庭を囲んでキッチン、ダイニング、居間、そして玄関までが一体となっているのを感じる。
下 / 居間から中庭を眺む。中庭が室内の一部のように感じられる心地よい空間になった。

